



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社アプラスフィナンシャル 上場取引所 東  
 コード番号 8589 URL http://www.aplusfinancial.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 郷司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業戦略部長 (氏名) 磯野 浩伸 TEL 03-6630-3933  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	50,863	3.5	6,678	18.0	7,090	24.8	5,980	20.5
27年3月期第3四半期	49,132	4.5	5,657	0.2	5,680	0.4	4,964	△2.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 5,955百万円 (15.6%) 27年3月期第3四半期 5,152百万円 (2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	3.92	1.57
27年3月期第3四半期	3.26	1.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	955,623	98,538	10.3	△0.96
27年3月期	896,862	102,702	11.5	△4.79

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 98,538百万円 27年3月期 102,702百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、「4. 種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。（「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照）

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,600	4.5	9,700	84.9	9,700	90.4	8,000	95.9	5.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	1,524,211,152株	27年3月期	1,524,211,152株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	4,688株	27年3月期	4,244株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	1,524,206,678株	27年3月期3Q	1,524,207,141株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当社は平成8年3月期より普通株式に係る配当を実施しておりません。現時点では配当を行うかどうかについては未定であります。

#### 4. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一回B種優先株式					
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				未定	未定
D種優先株式					
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				未定	未定
G種優先株式					
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				未定	未定
H種優先株式					
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				未定	未定

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調をたどりましたが、新車販売台数の伸び悩みや輸出・生産などの回復の遅れに加え、米国の政策金利引き上げや、原油価格の下落、中国をはじめとする新興国経済の下振れなど、海外を要因とする国内景気の下押し圧力が、次第に強まってまいりました。

当業界におきましては、決済手段の多様化を背景にカード市場や決済市場の拡大が続き、事業環境は概ね改善してまいりましたが、一方で、新車販売台数の伸び悩みや、過払利息に係る返還請求の高止まりなどの懸念材料が残る中、業態の垣根を越えた競争は激しさを増してまいりました。

このような中、当社グループは中期経営計画の最終年度を迎え、目標達成に向けてこれまでの取り組みを加速するとともに、次期中期経営計画を見据え、将来の成長に向けた事業基盤の強化に取り組んでまいりました。

新生銀行グループの新規事業として、海外専用の「海外プリペイドカード G A I C A (ガイカ)」の発行を平成27年7月より開始いたしました。本商品は、株式会社アプラスの持つカードおよび決済のノウハウと、株式会社新生銀行の持つ外貨商品・サービスを組み合わせ、お客さまに外貨の新しい活用手段と利便性の高い外貨サービスを提供するものであります。お客さまは、株式会社アプラスが発行する年会費無料の海外プリペイドカードを利用し、事前にチャージした金額の範囲内で「V i s a」、「P L U S」マークの表示のある世界200以上の国と地域のATMから現地通貨を引き出せるほか、海外のV i s a加盟店にてカードショッピングのご利用が可能となっております。また、株式会社新生銀行の「新生総合口座パワーフレックス」をご利用のお客さまは、円に加えて、米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドルの4通貨の外貨普通預金から24時間いつでも外貨をカードに直接チャージし、帰国後に余った外貨残高を外貨普通預金に戻すことが可能となっております。

主要事業の概況につきましては、次のとおりであります。

ショッピングクレジット事業におきましては、お客さまがWEB経由でショッピングクレジットをお申し込みいただける「アプラスeオーダー」のお取り扱いが可能な加盟店網の拡大や、ショッピングクレジットの利用金額に応じて「Tポイント」が貯まる「Tポイント付きショッピングクレジット」の推進などに取り組んでまいりました。また、平成27年6月に鹿児島支店を新たに開設し、約9年ぶりに営業拠点の新規出店を果たしました。

カード事業におきましては、「Tポイント」機能を搭載したクレジット機能付きTカードの一層の推進に取り組み、株式会社アプラスが提供する住宅関連の融資商品をご利用またはご利用予定のお客さまを対象とした「Tカード プラス (アプラス発行G)」の発行開始や、他の事業者との提携による提携Tカードの新規獲得を伸ばしてまいりました。また、事前登録型リボサービス「リボかえり」の推進などによるリボ残高の積み上げに取り組んでまいりました。

決済事業におきましては、賃貸管理会社などの家賃回収をサポートする「家賃サービス」の堅調な伸びなどにより、安定的に収益を伸ばしてまいりました。

ローン事業におきましては、お客さまが住宅を購入される際に必要な諸費用等を資金使途とするローン商品（「マイホームプラン」）などの住関連商品の残高を着実に伸ばしてまいりました。また、平成27年11月に賃貸住宅の入居時の費用等を資金使途とするローン商品（「レンタルハウスプラン」）の取り扱いを新たに開始いたしました。本商品は、資金使途を限定することで適用金利を抑え、同時に「家賃サービス」や「Tカード プラス (アプラス発行G)」をご利用いただくことで金利がさらに優遇されるものであります。

その他子会社におきましては、効率的な事業運営を目的にグループ内のカード事業集約に取り組み、平成28年度以降、全日信販株式会社が行うカード事業の株式会社アプラスへの集約を進めることを決定いたしました。

また、平成27年10月5日公表の「自己株式 (G種優先株式) の取得および消却に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社が発行するG種優先株式の一部について、金銭を対価として取得 (強制償還) し、これを消却いたしました。これは、事業環境が好転する中、当社グループの業績の安定や自己資本の十分な積み上がりなどを踏まえて実施するもので、今後につきましても、これらの状況を慎重に見極めた上で、残存するその他の優先株式の処理を柔軟に進めていくこととしております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力のカード事業、ショッピングクレジット事業および決済事業の収益が安定的に増加するとともに、ローン事業を中心とする融資収益も増加に転じ、営業収益は508億63百万円 (前第3四半期連結累計期間比3.5%増) となりました。営業費用は、当第3四半期は利息返還損失引当金繰入額を計上しなかったものの、トップラインの伸長に伴う貸倒引当金繰入額の増加などにより、441億85百万円 (同1.6%増) となりました。この結果、営業利益は66億78百万円 (同18.0%増)、経常利益は70億90百万円 (同24.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億80百万円 (同20.5%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比587億61百万円増加の9,556億23百万円となりました。これは主として現金及び預金、割賦売掛金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比629億25百万円増加の8,570億85百万円となりました。これは主として借入金、短期社債および社債の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比41億64百万円減少の985億38百万円となりました。これは主として資本剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結累計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	71,912	104,106
割賦売掛金	418,558	464,900
信用保証割賦売掛金	255,805	228,879
金銭の信託	117,555	124,622
その他	39,252	43,128
貸倒引当金	△30,553	△32,074
流動資産合計	872,531	933,562
固定資産		
有形固定資産	5,945	5,925
無形固定資産		
のれん	858	214
その他	9,576	8,522
無形固定資産合計	10,435	8,737
投資その他の資産	7,918	7,336
固定資産合計	24,298	21,999
繰延資産		
社債発行費	32	60
繰延資産合計	32	60
資産合計	896,862	955,623
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,708	16,180
信用保証買掛金	255,805	228,879
短期社債	77,000	106,600
短期借入金	135,146	152,370
未払法人税等	496	1,489
賞与引当金	1,241	782
ポイント引当金	419	326
債権流動化預り金	130,439	130,198
その他	116,020	126,892
流動負債合計	733,276	763,718
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	28,754	54,500
退職給付に係る負債	1,116	1,187
利息返還損失引当金	10,848	7,365
その他	10,163	10,313
固定負債合計	60,882	93,366
負債合計	794,159	857,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	54,916	44,796
利益剰余金	33,474	39,455
自己株式	△0	△0
株主資本合計	103,390	99,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	△1
退職給付に係る調整累計額	△770	△711
その他の包括利益累計額合計	△688	△713
純資産合計	102,702	98,538
負債純資産合計	896,862	955,623



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業収益</b>		
包括信用購入あっせん収益	12,403	13,073
個別信用購入あっせん収益	8,472	8,791
信用保証収益	11,854	12,032
融資収益	7,464	7,778
金融収益	1,412	1,300
その他の営業収益	7,526	7,885
営業収益合計	49,132	50,863
<b>営業費用</b>		
販売費及び一般管理費	41,770	42,363
金融費用	1,704	1,822
営業費用合計	43,474	44,185
<b>営業利益</b>	5,657	6,678
<b>営業外収益</b>		
固定資産売却益	18	—
投資有価証券売却益	—	389
雑収入	37	32
営業外収益合計	56	421
<b>営業外費用</b>		
固定資産除却損	20	6
雑損失	12	2
営業外費用合計	33	9
<b>経常利益</b>	5,680	7,090
税金等調整前四半期純利益	5,680	7,090
法人税、住民税及び事業税	711	1,067
法人税等調整額	4	41
法人税等合計	716	1,109
四半期純利益	4,964	5,980
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,964	5,980
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
<b>その他の包括利益</b>		
その他有価証券評価差額金	26	△82
退職給付に係る調整額	161	58
その他の包括利益合計	187	△24
四半期包括利益	5,152	5,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,152	5,955
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。